

【主担当部局：雇用経済部観光局】

県民の皆さんとめざす姿

県民の皆さん、市町、観光関連事業者、NPO法人等と連携を図り、マーケティングを実施し、マネジメントおよびPDCAサイクルの方法を取り入れた取組を推進することにより、国内外の来訪者から何度でも訪問したい観光地として三重県が選ばれるとともに、観光関連産業が三重県経済をけん引する産業のひとつとして確立し、地域が持続的に発展しています。

平成31年度末での到達目標

第62回神宮式年遷宮後の観光入込客の減、また、人口減少・少子高齢化による国内観光市場が縮小傾向にある状況においても、伊勢志摩サミット開催の経験や三重県の特性を生かした国内外誘客の取組、さらなる観光の産業化を進めることで、「みえの観光」のグレードアップが図られ、観光関連産業が活性化しています。

県民指標						
目標項目	27年度	28年度	29年度		30年度	31年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
観光消費額		4,850億円	4,900億円		4,950億円	5,000億円 以上
	4,830億円	4,919億円				
目標項目の説明と平成30年度目標値の考え方						
目標項目の説明	観光客が県内において支出した観光消費額（交通費、宿泊費、飲食費、入場料、土産代等）					
30年度目標値の考え方	伊勢志摩サミットの開催と知名度の向上を生かして国際観光地としてのレベルアップを図り、三重県内での滞在時間の長期化、三重ファンの増加による周遊性の拡大、宿泊比率の向上、外国人旅行者の増等につなげることにより、平成26年の観光消費額4,657億円を平成31年には5,000億円以上とすることをめざし、平成30年度は4,950億円を目標値とします。					

活動指標							
基本事業	目標項目	27年度	28年度	29年度		30年度	31年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
33201 持続可能な観光地づくり （雇用経済部観光局）	県内の延べ宿泊者数		980万人	990万人		995万人	1,000万人
		946万人	930万人				
33202 インバウンド倍増戦略の展開 （雇用経済部観光局）	県内の外国人延べ宿泊者数		390,000人	410,000人		430,000人	450,000人
		391,740人	351,870人				

基本事業	目標項目	27年度	28年度	29年度		30年度	31年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
33203 伊勢志摩 サミットの好機 を生かしたM I C E誘致（雇用 経済部観光局）	国際会議開催件 数（累計）		4件	8件		13件	20件
		—	17件				
33204 人にやさ しい観光の基盤 づくり（雇用経 済部観光局）	観光客満足度		22.5%	23.5%		24.5%	25.5%
		21.5%	26.7%				

現状と課題

- ①国の宿泊旅行統計調査によると、三重県の平成29年1月から8月の延べ宿泊者数は、約553万9千人で対前年同期比は89.6%、また、外国人延べ宿泊者数については、約17万4千人で対前年同期比69.2%といずれも減少しています。宿泊者の増加を図るべく、地域DMO候補法人や観光関連事業者、市町等と連携しながら、一丸となった誘客を展開していく必要があります。
- ②「みえ観光の産業化推進委員会」では、「みえ食旅パスポート」の利用促進や「日本版DMO」創設に向けた取組、大都市圏等へのプロモーションなどを展開することにより、三重県観光の質を高め、観光の産業化を推進し、観光消費額の増加につなげる取組を進めています。
- ③「みえ食旅パスポート」の発給数は約32万部（10月末時点）に達しています。引き続き、パスポートの利用促進に向けた取組を展開し、観光客の周遊性・滞在性の向上と地域の消費拡大を図る必要があります。
- ④大都市圏等からの誘客を促進するため、JR東海、近鉄、NEXCO中日本、JALなど交通事業者との連携によるプロモーションや、Instagram・ツイッターなどSNSを活用した情報発信、クルーズ船寄港に伴う県内各地への周遊促進などの取組を展開しています。今後は宿泊比率の高い関西圏を中心とした大都市圏からの宿泊促進に向けてさらに注力していく必要があります。
- ⑤「日本版DMO」創設に向けた取組では、平成29年9月に（公社）三重県観光連盟が地域連携DMO（全県DMO）として日本版DMO候補法人の登録申請を行いました。既に設立された6つの地域DMO候補法人や観光関連事業者等の観光地域づくりを支援できるよう、（公社）三重県観光連盟と県が連携を強化していく必要があります。
- ⑥海外誘客については、増加する個人の外国人旅行者（FIT）の誘客を図るため、平成29年6月からInstagram（3言語（英語、繁体字、タイ字）対応）により、ハッシュタグ「#visitmie」を付けた投稿の促進による三重の魅力発信を行っており、フォロワー数は約3,500（10月末）となっています。また、欧州、台湾における知名度向上及び同地域からの誘客を図るため、フランス、台湾にレップを設置し、営業活動を展開しています。ゴルフツーリズムについては、世界的に権威のある「国際ゴルフツアーオペレーター協会」が主催する「IAGTO第一回日本ゴルフツーリズムコンベンション（三重県開催）」の日本国内での初めての開催（平成30年10月）が決定しました。

一方で、観光関係者や海外の旅行会社から、外国人旅行者の関心を引くような体験型の観光コンテンツが十分ではないことや、SNS等のインターネット上での観光情報が不足していること等を課題として指摘されているため、現地の旅行会社や旅行者のニーズをふまえた取組を強化していく必要があります。

- ⑦MICE誘致については、営業委託による県外でのセールスや大学等への営業活動によりMICE開催地としての三重のブランドイメージの確立に向けて取り組んでいます。10月17日から19日にかけて伊勢志摩サミット後初の政府系国際会議となる観光庁主催のシンポジウムが伊勢志摩地域で開催されました。一方で、県外関係者が主催する会議の誘致を増やすことが課題となっています。
- ⑧バリアフリー観光の推進については、伊勢志摩バリアフリーツアーセンターと連携し、パーソナルバリアフリー基準による調査やアドバイスを行っています。今後も、「日本一のバリアフリー観光県推進宣言」に基づき、三重県版バリアフリー観光を普及し、県内におけるバリアフリー観光の受入環境の充実等、障がい者や高齢者、外国人も安心して訪問できる三重県の魅力ある観光地づくりを進める必要があります。

平成30年度の取組方向

- ①みえ観光の産業化推進委員会において、「観光の産業化」の推進に向けて取り組んだ事業の成果と課題を検証するとともに、観光関連事業者やDMO等と連携しながら、三重の魅力の発信や体験メニューの充実など魅力的な観光地づくりを進めることで、観光消費額の増加につなげていきます。
- ②「みえ食旅パスポート」のさらなる利用促進に向けた取組を展開し、コアな三重ファンを中心に、リピーターの増加につなげます。また、大都市圏等からの誘客及び宿泊を促進するため、引き続き、鉄道、航空、船舶などさまざまな交通事業者等と連携し、発地での情報発信や誘客促進などに取り組めます。
- ③全県DMOとなる（公社）三重県観光連盟と県の連携を強化し、デジタルマーケティングデータの分析・提供や、地域と連携した広域プロモーション等に取り組む、地域DMOや観光関連事業者等による観光地域づくりを支援します。
- ④増加する個人の外国人旅行者（FIT）の誘客に向けたSNSを活用した情報発信を充実するとともに、アジアを中心とした重点国・地域に加え、富裕層及び欧米からの誘客を進めるため、近隣自治体等と連携した広域での誘客の推進や、体験メニューを活用した誘客に取り組めます。また、「IAGTO第一回日本ゴルフツーリズムコンベンション（三重県開催）」を活用したゴルフツーリズムや台湾からの教育旅行誘致を推進し、旅行者の滞在促進（連泊、リピーターの拡大）に取り組めます。
- ⑤国際会議等MICEについては、県内主催者がより開催しやすい環境づくりに取り組むとともに、県外関係者が主催する会議の誘致を進め、より多くの国際会議等MICEの誘致・開催を実現できるよう取り組んでいきます。
- ⑥パーソナルバリアフリー基準による、三重県版バリアフリー観光が浸透するよう、同基準による調査やアドバイスを実施し、県内におけるバリアフリー観光の受入環境の充実を図ることで、障がい者や高齢者、外国人も安心して訪問できる三重県の魅力ある観光地づくりを推進していきます。

主な事業

- ①みえ観光の産業化推進委員会負担金【基本事業名：33201 持続可能な観光地づくり】
予算額：(29) 91,890千円 → (30) 83,929千円
事業概要：持続可能な観光地域づくりを進めるため、「みえ食旅パスポート」を活用した観光客の周遊促進をはじめ、県内の地域DMO等観光地域づくりを行う団体への支援、交通事業者等との連携による大都市圏でのプロモーション、客船の誘致及び寄港時における県内周遊の促進などの取組を展開します。
- ②（新）関西「めっちゃ近いぜ！おもしろいぜ！三重キャンペーン」事業
【基本事業名：33201 持続可能な観光地づくり】
予算額：(29) ー 千円 → (30) 10,000千円
事業概要：本県への旅行宿泊者を増加させるため、宿泊比率の高い関西圏にターゲットを絞った宿泊促進を図るキャンペーンを実施します。
- ③（新）「みえの観光未来図」宿泊業生産性向上プログラム支援事業
【基本事業名：33201 持続可能な観光地づくり】
予算額：(29) ー 千円 → (30) 10,000千円
事業概要：県内の宿泊施設が限られた”人財”を最大限に生かし、持続的な成長を続ける経営をめざせるような展開を図るため、宿泊業の「働き方改革」に取り組みます。
- ④海外誘客推進プロジェクト事業【基本事業名：33202 インバウンド倍増戦略の展開】
予算額：(29) 57,425千円 → (30) 37,419千円
事業概要：インバウンドの拡大を図るため、アジアを中心とした重点国・地域に加え、富裕層及び欧米からの誘客等に取り組むとともに、個人の外国人旅行者（FIT）の増加もふまえたSNS等による情報発信や海外からの教育旅行の誘致に取り組みます。
- ⑤（新）「#VisitMie」キャンペーン事業
【基本事業名：33202 インバウンド倍増戦略の展開】
予算額：(29) ー 千円 → (30) 21,000千円
事業概要：日本を訪れる外国人旅行者の旅行ニーズの多様化や地域の特色を生かした体験型観光への需要の高まりに対応するため、旅行者のニーズを適切に把握するとともに、SNSを活用したキャンペーンの実施や外国人向け体験プログラムの充実を図ります。
- ⑥（新）ゴルフツーリズムの確立による新規需要開拓事業
【基本事業名：33202 インバウンド倍増戦略の展開】
予算額：(29) ー 千円 → (30) 23,605千円
事業概要：「IAGTO第一回日本ゴルフツーリズムコンベンション（三重県開催）」の好機を生かし、富裕層やG7各国を含むスポーツに関心の高い欧米からの観光客誘致を図るため、ゴルフをテーマにした誘客プロモーションを展開します。

⑦（新）日台観光サミット in 三重 5周年記念観光交流事業

【基本事業名：33202 インバウンド倍増戦略の展開】

予算額：(29) ー 千円 → (30) 33,000千円

事業概要：日台観光サミットの本県での開催から5周年を機に、台湾観光関係者との関係を強化するとともに、台湾における本県の露出度を高め、認知度向上及び誘客につながるようするため、観光交流事業を展開します。

⑧海外MICE誘致促進事業

【基本事業名：33203 伊勢志摩サミットの好機を生かしたMICE誘致】

予算額：(29) 21,193千円 → (30) 21,373千円

事業概要：安定的に開催地域への大きな経済波及効果を生み出す国際会議等MICEの開催を促進するため、県内主催者が国際会議を開催しやすい環境づくりや、セールス活動による県外関係者主催会議の誘致に取り組みます。

⑨観光事業推進費【基本事業名：33204 人にやさしい観光の基盤づくり】

予算額：(29) 24,455千円 → (30) 26,752千円

事業概要：観光事業の推進を図るため、関係団体との連携や、観光動向の分析に必要な観光客実態調査、三重県版バリアフリー観光の推進等に取り組みます。また、県民や多くの関係者とともに、「みえの観光振興に関する条例」や「三重県観光振興基本計画」に基づき観光施策を進めます。